

2. 調 査 報 告 書

調査員氏名 浜田 千里 / 同行調査員氏名 石松 成子

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者はその人らしく暮らせる事及び家族等との交流を重視した支援を理念として語り、職員全員確認しているが、地域密着型という新しいサービスを反映した理念の盛り込みはこれからという段階である。	○	地域密着型サービスという、新しいグループホームの位置付けに即した理念を作成することを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には理念を伝えて共有に努めている。毎日の申し送りや、カンファレンス、ミーティング、毎月の研修会で理念を浸透させて、日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入している。近くの公園で行われるホーム主催の夏祭りに参加してもらったり、回覧板をまわしたり、地域との交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を各ユニット毎の職員で行い、全体会議において改善課題について話し合っ意義を理解している。改善に向けて計画的、継続的に取り組み、サービスの質の確保に活かしていこうとする姿勢が見られた。		

グループホームいこいの泉

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は1回開催している。積極的に参加してもらえよう委員に働きかけはしているが、委員の構成が幅広いものになり得ていないため、サービス向上に活かす意見が集約されていない。	○	行政職員や地域包括支援センター、地域の方々はこの会議の意義や役割を理解してもらい事前の調整を図り、積極的に参加してもらえようように働きかけをしていく事が望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者との関係作りは積極的に行うまでには至っていない。	○	市の担当窓口に対して、事業所の考え方や実態を共有してもらえよう関係作りを積極的に行い、協働関係を継続していく事が望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にホーム便りを発行したり、家族会や来訪時に現在の報告を積極的に情報提供している。金銭管理は出納帳により管理し、定期的に家族に報告してサインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の来訪時に近況を報告し、意見や要望を出してもらっている。家族との会話の中で得られた意見や要望等はミーティングで話し合い運営に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が対応する事の重要さを運営者は理解しており、馴染みの職員が継続的に支える体制作りに努めている。		

グループホームいこいの泉

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員育成に熱意を持っているため、段階的、計画的な研修の機会を職員と話し合いながら設けている。研修会の報告をして全職員が共有できる仕組みができています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や市のグループホーム連絡協議会に加入し、研修会に参加しているが、他事業所との交流は図られていないので、今後の課題として検討している。	○	他のグループホームの見学や相互研修会を行い、意見や経験をケアに活かし、職員育成に役立つ実践的な交流や連携に取り組むことを期待したい。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族にホームの見学をしてもらったり、遊びに来てもらうなど、信頼関係を築きながら、安心と納得した支援を心がけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生花、下ごしらえ、調理等、日常の生活の中で、得意とする事は力を発揮してもらっている。職員は生活の技を教わったり、身だしなみの助言を受けたり、教わったりしながら、良好な関係を保っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、言動から思いや意向を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時に本人や家族等から生活歴や要望を聴きさらに、職員全員で意見交換やカンファレンスを行い本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しを行い、担当者会議には家族にも出席してもらっている。見直し後、介護経過記録に従って評価を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況に応じて、通院の送迎等、必要な支援は柔軟に対応している。訪問看護も受けており、看護記録に記されている。		

グループホームいこいの泉

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する掛かりつけ医に受診している。家族と協力し、通院介助を行ったり、訪問診療を受けている。受診結果は家族にも報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末に対する対応指針を定め、家族、医師、看護師を交え、話し合いを行っている。家族の思いや変化に注意を払い、支援に繋げている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	日常の関わりの中やミーティングの折に、職員の意識向上を図り、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応への徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、外出、入浴時間、食事の好み等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら職員同士が工夫して、柔軟に対応している。		

グループホームいこいの泉

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を考えたり、下ごしらえ、調理等、入居者と一緒に行い、職員も同じテーブルを囲んで楽しく食事出来るよう雰囲気作りに努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人や家族から、一人ひとりの習慣や好みをよく聞いて、相談しながら入浴の支援をしている。又、同性による入浴介助も心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り、プランターへの花植え、野菜の収穫、新聞読み、ニュースを見る等利用者の趣味や特技を発揮する場面作りをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	都市型の立地条件を活かしてデパートのイベントの見学をする他、花見、ドライブ、墓参り等で出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に付けていたチャイムを外し、職員の見守りを徹底し、一人一人の状態をきめ細かく把握して、鍵を掛けずに自由な暮らしが出来るよう支援している。		

グループホームいこいの泉

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回地域の人々の協力を得ながら避難訓練を行っている。災害に備えた備品等の準備も検討している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事内容や食事量、水分量を業務日誌に記録して、大まかな栄養バランスと水分量を把握している。食事量の少ない方には、高カロリーのゼリー等、食べてもらうよう工夫している。水分補給用にホールの一角にポットが常備されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	マンションの中の居住空間ではあるが、広々として温かみのある色調で統一されている。見晴らしのよいベランダに季節の花々が植えられており、畳の間やホールに馴染みの箆笥、ソファ、姿見等置かれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真、髭剃り、籐の椅子、テーブル、ファンヒーター、カーペット等それぞれ入居者の好みや馴染みの物が持ち込まれ、その人らしい居心地のよい居室になっている。		

※  は、重点項目。